

6. 子育て支援施設

6. 1 保育所

(1) 施設の概要

■ 設置の目的

保育所は、保護者の労働又は病気等の理由によって家庭で十分に保育することのできない児童を預かり保育することを目的として、児童福祉法に基づき設置されています。

■ 保有施設

市内には保育所が 17 か所（平成 22 年度の定員 1,550 人）あり、このうち舞鶴市が運営する保育所は 5 か所（定員 420 人）です。保育所の延床面積は 2,829 m²です。

表 施設一覧（2012 年度（平成 24 年度））

| 施設名称 | 地区 | 所管課 | 施設形態 | 延床面積 (m ²) | 建築年 ^{※1} | 建築年数 ^{※2} |
|--------|-----|--------|------|------------------------|-------------------|--------------------|
| 東保育所 | 東地区 | 子ども育成課 | 単独 | 591.33 | 1978 | 34 |
| 中保育所 | 東地区 | 子ども育成課 | 単独 | 1,183.33 | 1981 | 31 |
| 東乳児保育所 | 東地区 | 子ども育成課 | 単独 | 325.50 | 1967 | 45 |
| 西乳児保育所 | 西地区 | 子ども育成課 | 単独 | 350.89 | 1972 | 40 |
| 南乳児保育所 | 東地区 | 子ども育成課 | 単独 | 377.77 | 1975 | 37 |

※1 建築年：一番古い棟の年を記載している。

※2 建築年数：2012 年（平成 24 年）を基準年として算出している。

■ 配置状況

図 施設配置

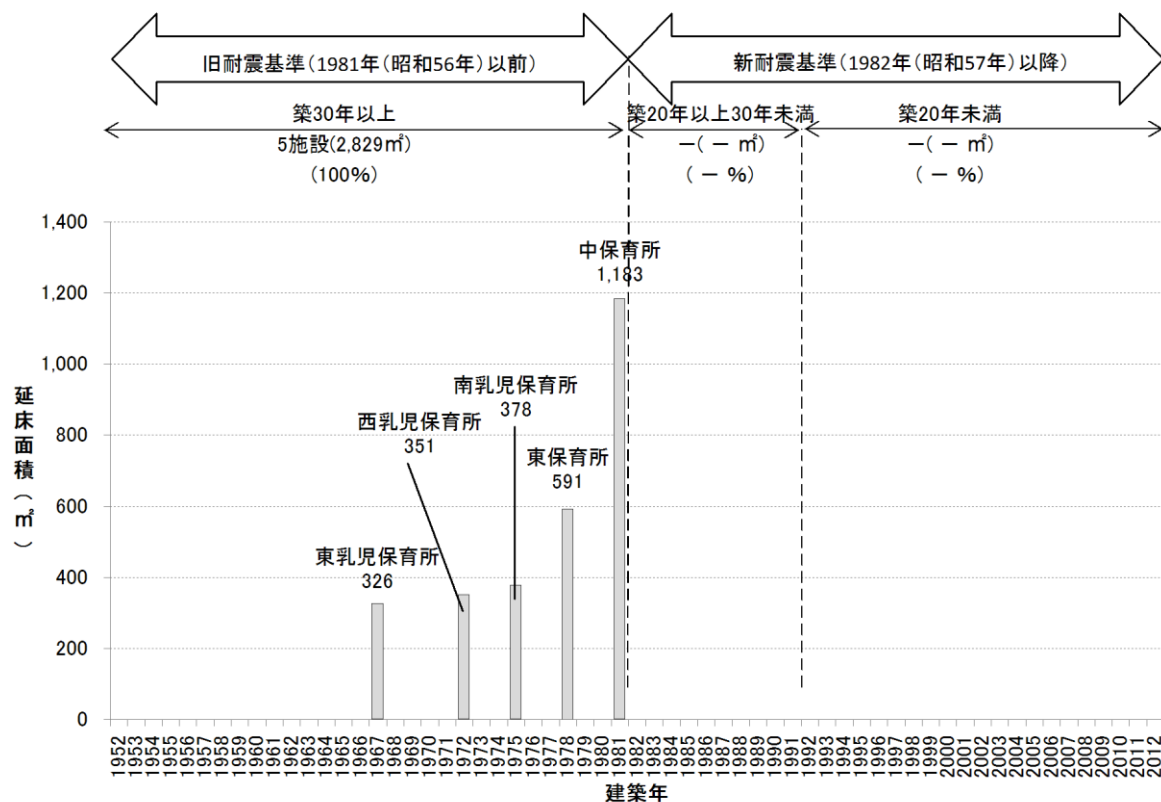


(2) 建物状況

■ 老朽化

すべての施設が築30年以上経過しており、特に東乳児保育所及び西乳児保育所は築40年以上が経過しています。耐震補強はすべての施設で実施済みです。

図 築年別整備状況



※ 建築年が複数回に分かれるものについては、一番古い建築年で示している。

■ 機能改善、環境負荷低減

バリアフリー化は、中保育所に身障者用トイレと車いす用スロープが設置されています。環境への負荷を低減させる設備は設置されていません。

表 機能改善等の状況

| | | 東保育所 | 中保育所 | 東乳児保育所 | 西乳児保育所 | 南乳児保育所 |
|---------|---------------|------|------|--------|--------|--------|
| バリアフリー化 | 車いす用エレベーター | × | × | × | × | × |
| | 身障者用トイレ | × | ▲ | × | × | × |
| | 車いす用スロープ | × | ▲ | × | × | × |
| | 自動ドア | × | × | × | × | × |
| | 手すり | × | × | × | × | × |
| | 点字ブロック | × | × | × | × | × |
| 環境負荷低減 | 自然エネルギー・太陽光発電 | × | × | × | × | × |
| | 屋上緑化・壁面緑化 | × | × | × | × | × |
| | 環境対応設備 | × | × | × | × | × |

※ 「●・・・設置済み」、「▲・・・一部設置」、「×・・・設置なし」を表している。

(3) 利用状況

■ 入所者数

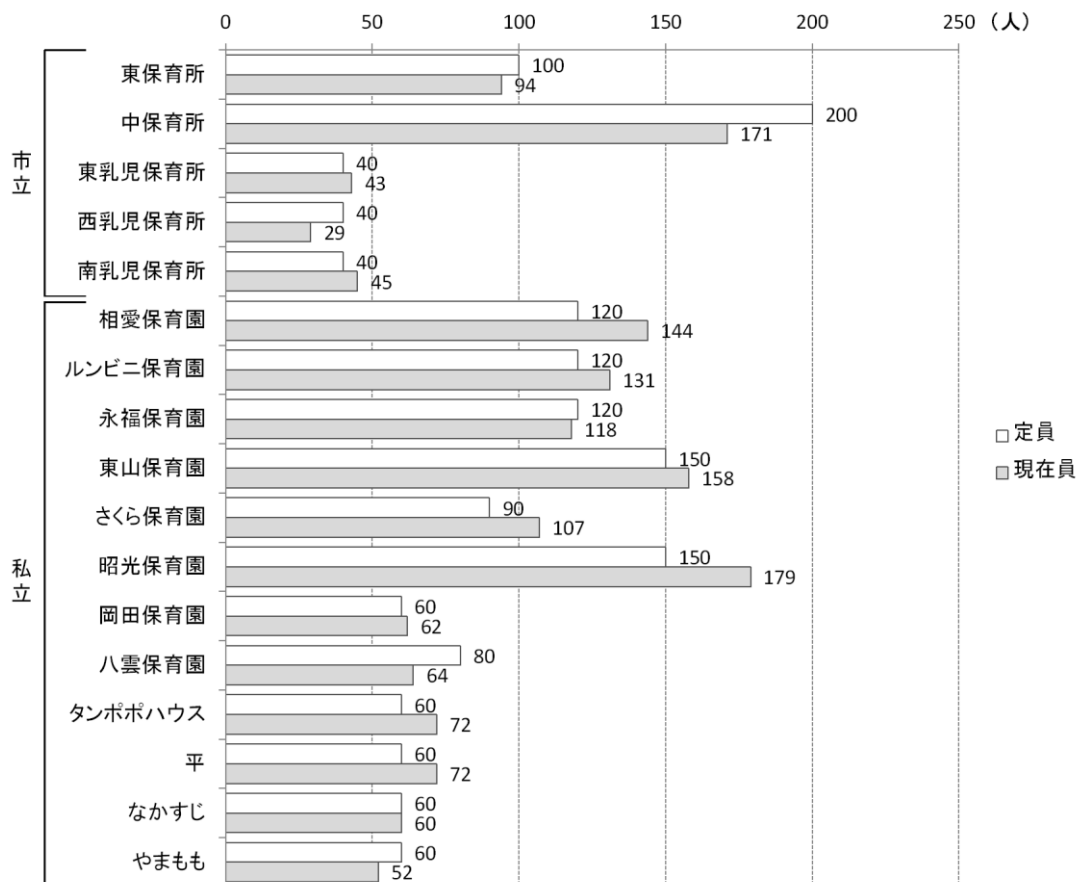
2010年（平成22年）10月1日時点の、市内の保育所の定員及び入所者数の状況は次図のとおりです。

市が運営する5か所の保育所は、定員420人に対して、入所者数は382人です。施設別には、東乳児保育所と南乳児保育所で定員を超えた児童が入所していますが、その他の3施設では定員内です。

私立の保育所では、定員1,130人に対して入所者数は1,219人で、12施設中9施設で定員を超えています。

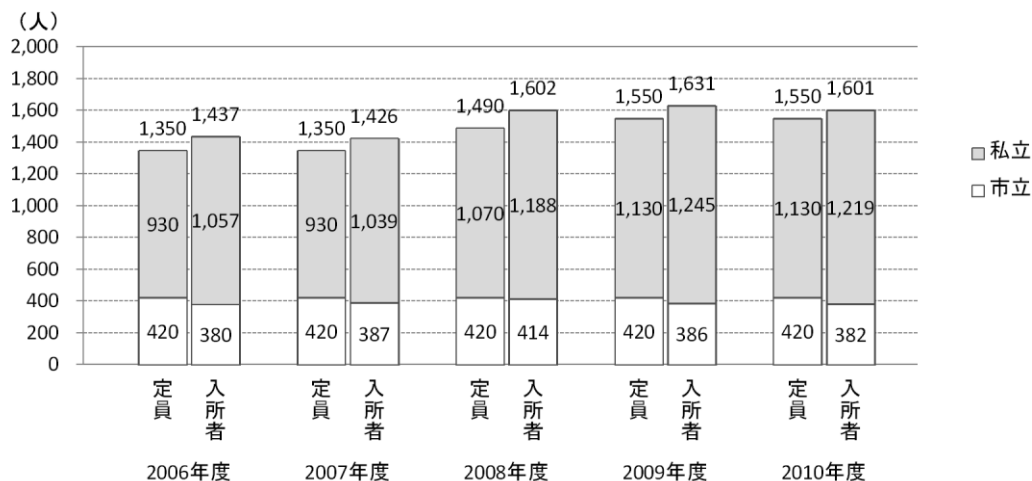
核家族化の進行や女性の社会進出の拡大等に伴い、私立の保育園も含めた入所者数全体は年々増加傾向にあります。私立の保育所の新たな開設や定員の拡大により受入体制が拡充されており、市の運営する施設では、入所者数に大きな変動はありません。

図 市内の保育所と入所者数（2010年（平成22年）10月1日時点）



出典：舞鶴市統計書

図 定員と入所者数の推移



出典：舞鶴市統計書

(4) 運営状況

■ 運営方法、運営日数

すべての施設が直営で運営されています。

年間運営日数は全施設 294 日です。保育時間は、保育所が 7 時 15 分から 18 時 15 分まで、乳児保育所が 7 時 30 分から 18 時 30 分までです。東保育所及び中保育所では 19 時 15 分までの延長保育も行っています。

表 運営方法・運営日数

| 施設名称 | 運営方法 | 年間運営日数 | 定休日(曜日) | 開所時間 | 閉所時間 |
|--------|------|--------|---------|------|-------|
| 東保育所 | 直営 | 294 | 日祝 | 7:15 | 18:15 |
| 中保育所 | 直営 | 294 | 日祝 | 7:15 | 18:15 |
| 東乳児保育所 | 直営 | 294 | 日祝 | 7:30 | 18:30 |
| 西乳児保育所 | 直営 | 294 | 日祝 | 7:30 | 18:30 |
| 南乳児保育所 | 直営 | 294 | 日祝 | 7:30 | 18:30 |

■ 運営人員

5 か所の施設を 140 人で運営しています。その内訳は、職員 56 人（保育士 50 人、調理員 6 人）、嘱託・臨時職員 84 人（保育士 68 人、作業員 7 人、調理員 9 人）です。

施設別には中保育所が 52 人と最も多く、その他の施設は約 20 人から 30 人で運営しています。

表 運営人員（2010 年（平成 22 年）10 月 1 日時点）

| 施設名称 | 入所者 | 保育士 | | 作業員 | | 調理員 | | 合計 |
|--------|-----|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|
| | | 職員 | 嘱託・臨時 | 職員 | 嘱託・臨時 | 職員 | 嘱託・臨時 | |
| 東保育所 | 94 | 11 | 13 | 0 | 1 | 1 | 2 | 28 |
| 中保育所 | 171 | 18 | 26 | 0 | 2 | 2 | 4 | 52 |
| 東乳児保育所 | 43 | 7 | 11 | 0 | 1 | 1 | 1 | 21 |
| 西乳児保育所 | 29 | 7 | 8 | 0 | 2 | 1 | 1 | 19 |
| 南乳児保育所 | 45 | 7 | 10 | 0 | 1 | 1 | 1 | 20 |
| 合計 | 382 | 50 | 68 | 0 | 7 | 6 | 9 | 140 |

(5) 防災状況

■ 防災設備状況

耐震補強はすべての施設で実施済みです。

地域防災計画上の位置付けはありません。

避難所機能は、すべての施設に調理設備、冷暖房設備及び入浴施設が設置されています。

表 防災設備状況

| | | 東保育所 | 中保育所 | 東乳児保育所 | 西乳児保育所 | 南乳児保育所 |
|----------------------------------|----------|------|------|--------|--------|--------|
| 耐震性 | 耐震診断 | 実施済 | 実施済 | 実施済 | 実施済 | 実施済 |
| | 耐震補強 | 実施済 | 実施済 | 実施済 | 実施済 | 実施済 |
| 地域 防災 位置 付け 計画 での | 災害対策本部 | — | — | — | — | — |
| | 避難所 | × | × | × | × | × |
| | 応急給水場所 | × | × | × | × | × |
| | 医療救護所 | × | × | × | × | × |
| 避難 所 機能 | 災害用備蓄 | × | × | × | × | × |
| | 通信設備 | × | × | × | × | × |
| | 簡易トイレ | × | × | × | × | × |
| | マンホールトイレ | × | × | × | × | × |
| | 調理設備 | ● | ● | ● | ● | ● |
| | 代替電源設備 | × | × | × | × | × |
| | 冷暖房設備 | ● | ● | ● | ● | ● |
| 入浴施設 | ● | ● | ● | ● | ● | |

※ 「●・・あり」、「×・・なし」を表している。

※ 耐震性の基準は、基本的に非木造の2階建て以上又は延床面積200㎡超の建物を対象とした市の調査に基づき、次のように分類している。

- ・対象外：上記の対象にならない建物
- ・不要：上記の対象建物の内、1981年（昭和56年）6月以降建築の建物、又は耐震診断を実施し耐震補強の必要がない建物
- ・実施済：上記の対象建物の内、診断・補強を実施した建物
- ・未実施：上記の対象建物の内、診断・補強を実施していない建物

■ 自然災害に対する安全性

ハザードマップ（洪水）で見ると、東乳児保育所は0.5から1.0m未満の浸水が、西乳児保育所は1.0から2.0m未満の浸水が、それぞれ予想されるエリアに立地しています。

(6) コスト状況

■ 収支状況

2010 年度（平成 22 年度）の各施設の運営にかかるコストの状況は以下のとおりで、年間約 4 億 3,200 万円で運営されており、その全額が市の財政からの支出（行政コスト）です。

保育所全体の利用者 1 人当たりの行政コストの平均は 1,131,408 円で、0 歳児から 3 歳児までを専門に預かる 3 か所の乳児保育所では、就学前までの児童を預かる東保育所や中保育所に比べて高くなっています。

表 施設別の運営コスト（2010 年度（平成 22 年度））

(円)

| | | 東保育所 | 中保育所 | 東乳児保育所 | 西乳児保育所 | 南乳児保育所 | 合計 | |
|-------------------|------------|-------------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|-----------|
| 建物に係るコスト（維持管理費等） | 燃料費 | 152,470 | 180,150 | 135,162 | 7,938 | 8,585 | 484,305 | |
| | 光熱水費 | 電気代 | 797,424 | 1,788,375 | 625,533 | 657,402 | 590,366 | 4,459,100 |
| | | 油代 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | ガス代 | 224,119 | 553,001 | 262,214 | 198,022 | 178,676 | 1,416,032 |
| | | 上下水道代 | 889,268 | 1,043,446 | 571,378 | 390,560 | 447,724 | 3,342,376 |
| | | 計 | 1,910,811 | 3,384,822 | 1,459,125 | 1,245,984 | 1,216,766 | 9,217,508 |
| | 修繕料 | 117,835 | 316,325 | 506,880 | 302,375 | 399,145 | 1,642,560 | |
| | 建物管理委託料 | 148,084 | 310,248 | 158,381 | 135,555 | 154,932 | 907,200 | |
| | 賃借料・使用料 | 地代 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他 | 492,406 | 0 | 0 | 0 | 0 | 492,406 |
| | | 計 | 492,406 | 0 | 0 | 0 | 0 | 492,406 |
| | 工事請負費 | 0 | 17,213,950 | 0 | 590,100 | 0 | 17,804,050 | |
| | 公有財産・備品購入費 | 0 | 4,389,000 | 0 | 0 | 217,560 | 4,606,560 | |
| | 負担金等 | 31,482 | 3,173 | 15,523 | 11,848 | 14,049 | 76,075 | |
| 合計(a) | 2,853,088 | 25,797,668 | 2,275,071 | 2,293,800 | 2,011,037 | 35,230,664 | | |
| 事業運営費 | 人件費 | 70,825,732 | 119,228,631 | 62,121,920 | 60,260,604 | 45,926,858 | 358,363,745 | |
| | その他 | 9,496,460 | 17,255,763 | 4,323,592 | 3,011,073 | 4,516,609 | 38,603,497 | |
| | 合計(b) | 80,322,192 | 136,484,394 | 66,445,512 | 63,271,677 | 50,443,467 | 396,967,242 | |
| 運営コスト(a+b) | 83,175,280 | 162,282,062 | 68,720,583 | 65,565,477 | 52,454,504 | 432,197,906 | | |
| 減価償却費(c) | 3,061,043 | 6,069,652 | 1,703,342 | 1,554,777 | 1,914,388 | 14,303,202 | | |
| トータルコスト(a+b+c) | 86,236,323 | 168,351,714 | 70,423,925 | 67,120,254 | 54,368,892 | 446,501,108 | | |
| 行政コスト | 指定管理委託料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | その他行政支出額 | 83,175,280 | 162,282,062 | 68,720,583 | 65,565,477 | 52,454,504 | 432,197,906 | |
| | 合計 | 83,175,280 | 162,282,062 | 68,720,583 | 65,565,477 | 52,454,504 | 432,197,906 | |
| 入所人数(人) | 94 | 171 | 43 | 29 | 45 | 382 | | |
| 入所者1人当たりの行政コスト(円) | 884,843 | 949,018 | 1,598,153 | 2,260,879 | 1,165,656 | 1,131,408 | | |

運営コストの内訳は、事業運営費が約 3 億 9,697 万円（約 92%）、工事請負費が約 1,780 万円（約 4%）、光熱水費が約 922 万円（約 2%）です。

図 全体の運営コストの内訳（2010 年度（平成 22 年度））

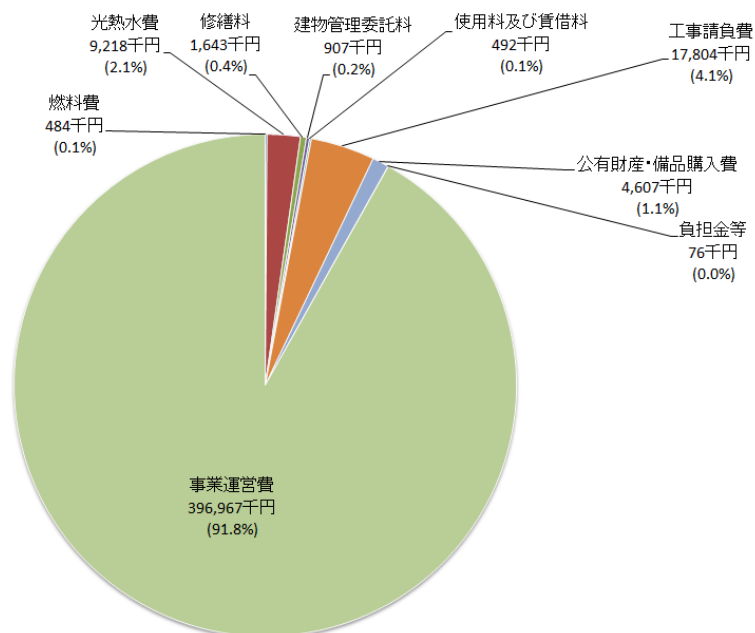
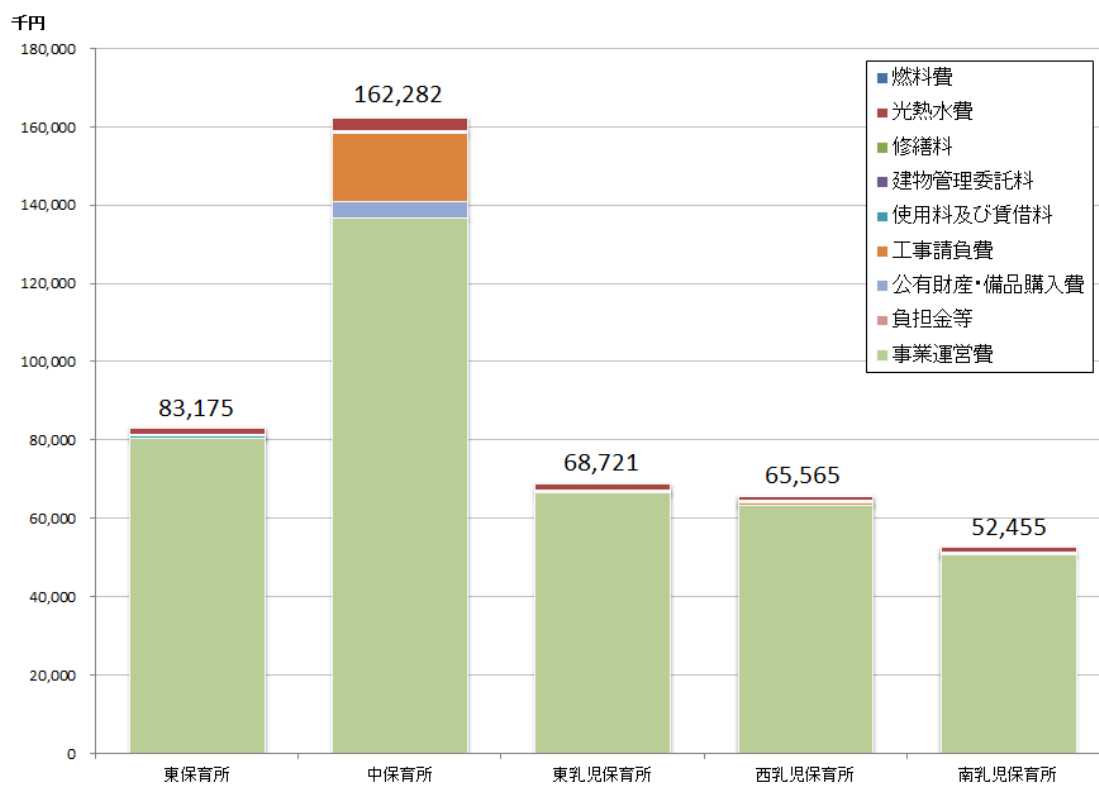


図 施設別の運営コストの内訳（2010 年度（平成 22 年度））



■ 維持管理経費（光熱水費、修繕料、建物管理委託料）

保育所全体の維持管理経費（光熱水費、修繕料、建物管理委託料）として、約 1,170 万円が支出されています。内訳は、光熱水費が約 922 万円（約 78%）、修繕料が約 164 万円（約 14%）、建物管理委託料が約 91 万円（約 8%）です。

施設別では、約 168 万円（西乳児保育所）から約 401 万円（中保育所）となり、これを施設の延床面積 1 m²当たりの維持管理経費で見ると平均は 4,160 円で、最も低いのが中保育所の 3,390 円、最も高いのが東乳児保育所の 6,527 円となり、施設間でばらつきがあります。

表 施設別の 1 m²当たりの維持管理経費（2010 年度（平成 22 年度））

(円)

| | 東保育所 | 中保育所 | 東乳児保育所 | 西乳児保育所 | 南乳児保育所 | 合計 | 平均 | |
|----------------------------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------------------|-----------|
| 延床面積 (m ²) | 591.33 | 1,183.33 | 325.50 | 350.89 | 377.77 | 2,828.82 | 565.76 | |
| 維持管理経費 | 光熱水費 | 1,910,811 | 3,384,822 | 1,459,125 | 1,245,984 | 1,216,766 | 9,217,508 (78.3%) | 1,843,502 |
| | 修繕料 | 117,835 | 316,325 | 506,880 | 302,375 | 399,145 | 1,642,560 (14.0%) | 328,512 |
| | 建物管理委託料 | 148,084 | 310,248 | 158,381 | 135,555 | 154,932 | 907,200 (7.7%) | 181,440 |
| | 合計 | 2,176,730 | 4,011,395 | 2,124,386 | 1,683,914 | 1,770,843 | 11,767,268 (100.0%) | 2,353,454 |
| 1 m ² 当りの維持管理経費 | 光熱水費 | 3,231 | 2,860 | 4,483 | 3,551 | 3,221 | - | 3,258 |
| | 修繕料 | 199 | 267 | 1,557 | 862 | 1,057 | - | 581 |
| | 建物管理委託料 | 250 | 262 | 487 | 386 | 410 | - | 321 |
| | 合計 | 3,681 | 3,390 | 6,527 | 4,799 | 4,688 | - | 4,160 |

■ 将来コスト

今後40年間における大規模改修、建替え及び耐震改修に必要な投資的経費と維持管理費の合計は約26億円、年平均で約7,000万円と見込まれます。

このうち当面の10年間に必要なコストは、中保育所と西乳児保育所の大規模改修のための投資的経費約2億6,000万円と、全施設の維持管理費約3億5,000万円で、合計約6億1,000万円となり、年平均では約6,000万円と見込まれます。

表 施設の維持に必要なコスト

(億円)

| | 40年間で 必要なコスト | 直近10年間で必要なコスト | | | | | 合計 |
|--------|-----------------|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 東保育所 | 中保育所 | 東乳児保育所 | 西乳児保育所 | 南乳児保育所 | |
| 投資的経費 | | | | | | | |
| 大規模改修 | 2.6 | - | 2.0 | - | 0.6 | - | 2.6 |
| 建替え | 9.3 | - | - | - | - | - | - |
| 耐震改修 | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 11.9 | - | 2.0 | - | 0.6 | - | 2.6 |
| (年平均) | (0.30) | - | (0.20) | - | (0.06) | - | (0.26) |
| 維持管理費等 | 14.1 | 0.3 | 2.6 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 3.5 |
| 合計 | 26.0 | 0.3 | 4.6 | 0.2 | 0.8 | 0.2 | 6.1 |
| (年平均) | (0.65) | (0.03) | (0.46) | (0.02) | (0.08) | (0.02) | (0.61) |

※東保育所、東乳児保育所及び南乳児保育所は、2015年度(平成27年度)を目標に移転統合する計画が検討されているため、大規模改修等は計上していない。

図 今後40年間で施設の維持に必要なコストの内訳

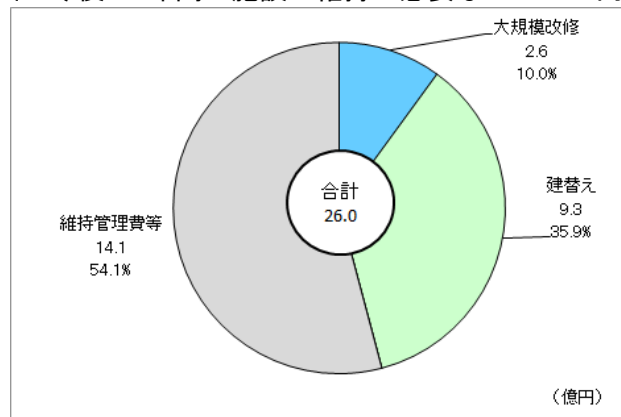
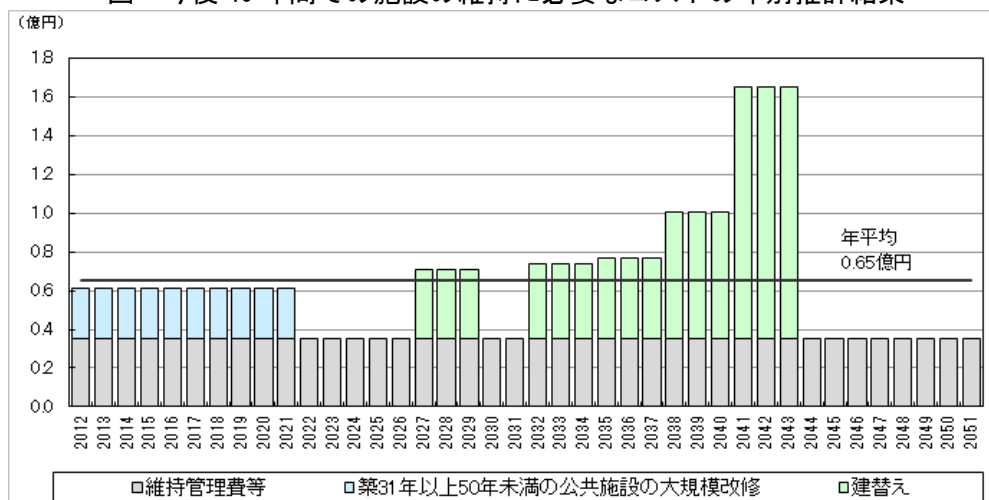


図 今後40年間で施設の維持に必要なコストの年別推計結果



※各将来コストの算定方法は巻末を参照

(7) 評価（まとめ）

■ 現状・課題

| | |
|---------|--|
| 施設の保有状況 | ➤市内には保育所が 17 か所（2010 年度（平成 22 年度）の定員 1,550 人）あり、このうち舞鶴市が運営する保育所は 5 か所（定員 420 人）です。保育所の延床面積は 2,829 m ² です。 |
| 建物状況 | ➤すべての保育所が築 30 年以上経過し、老朽化が進んでいます。 ➤バリアフリー化は、中保育所の一部に身障者用トイレと車いす用スロープが設置されているのみです。 |
| 利用・運営状況 | ➤市立の保育園の入所者数はほぼ一定ですが、核家族化や女性の社会進出の拡大等に伴い、私立も含めた入所者数は年々、増加傾向にあります。 ➤5 か所の保育所は直営で運営しています。 |
| 防災対応状況 | ➤耐震補強はすべての施設で実施済みです。 ➤地域防災計画上の位置付けはありません。 ➤東乳児保育所と西乳児保育所は、河川氾濫時に浸水被害が予想されるエリアに立地しています。 |
| コスト状況 | ➤2010 年度（平成 22 年度）の運営コストは約 4 億 3,200 万円で、事業運営費が約 92%、建物に係るコスト（維持管理費等）が約 8%で、全額が市の財政からの支出（行政コスト）です。 ➤入所者 1 人当たりの行政コストの平均は 1,131,408 円で、3 歳児までの児童を預かる 3 か所の乳児保育所は高くなっています。また、延床面積 1 m ² 当たりの維持管理経費の平均は 4,160 円です。 ➤今後 40 年間に必要な将来コスト（事業運営費を除く）は約 26 億円（年平均約 7,000 万円）で、当面 10 年間では、大規模改修に約 2 億 6,000 万円の投資的経費が必要となります。 |

■ 改善の方向性

- 全施設で老朽化が進行しており、早期に大規模改修や建替え等の対応が必要です。
- 保育所への入所希望者は今後も増加が見込まれるため、各地区での定員と入所希望者のバランスや公立保育所としての役割を踏まえ、民間保育園と連携しながら、「待機児童なし」に向けて、施設や運営を改善していく必要があります。
- 東保育所、東乳児保育所及び南乳児保育所は、2015 年度（平成 27 年度）を目標に、舞鶴市総合文化会館の北側市有地に移転統合する計画が検討されています。定員は 150 名（現在は 3 施設で 180 名）の予定です。
- 西乳児保育所は、築後 40 年を超えた施設であり、大規模補修や建替えが必要となります。運営と施設の両面から隣接する舞鶴幼稚園を含めて施設のあり方を検討していく必要があります。

6. 2 幼稚園

(1) 施設の概要

■ 設置の目的

幼稚園は、満3歳から小学校就学の始期に達するまでの幼児を教育するための施設として、学校教育法に基づいて設置されています。

■ 保有施設

市内には幼稚園が13か所（定員2,373人）あり、このうち舞鶴市が運営する施設は1か所（定員294人）です。幼稚園の延床面積は、1,117㎡です。

表 施設一覧（2012年度（平成24年度））

| 施設名称 | 所管部 | 所管課 | 施設形態 | 延床面積(㎡) | 建築年 ^{※1} | 建築年数 ^{※2} |
|-------|-----|-------|------|----------|-------------------|--------------------|
| 舞鶴幼稚園 | 西地区 | 教育総務課 | 単独 | 1,116.87 | 1974 | 38 |

※1 建築年：一番古い棟の年を記載している。

※2 建築年数：2012年（平成24年）を基準年として算出している。

表 舞鶴市内の幼稚園一覧

| 区分 | 名称 | 定員 |
|-------|---------|-------|
| 市立 | 舞鶴幼稚園 | 294 |
| 私立 | 舞鶴聖母幼稚園 | 315 |
| | 倉梯幼稚園 | 280 |
| | 森の子ら幼稚園 | 120 |
| | 朝日幼稚園 | 80 |
| | 橘幼稚園 | 300 |
| | シオン幼稚園 | 120 |
| | 中舞鶴幼稚園 | 104 |
| | 三鶴幼稚園 | 120 |
| | 志楽幼稚園 | 160 |
| | ひばり幼稚園 | 200 |
| | 池内幼稚園 | 150 |
| 朝来幼稚園 | 130 | |
| 合計 | | 2,373 |

■ 配置状況

図 施設配置

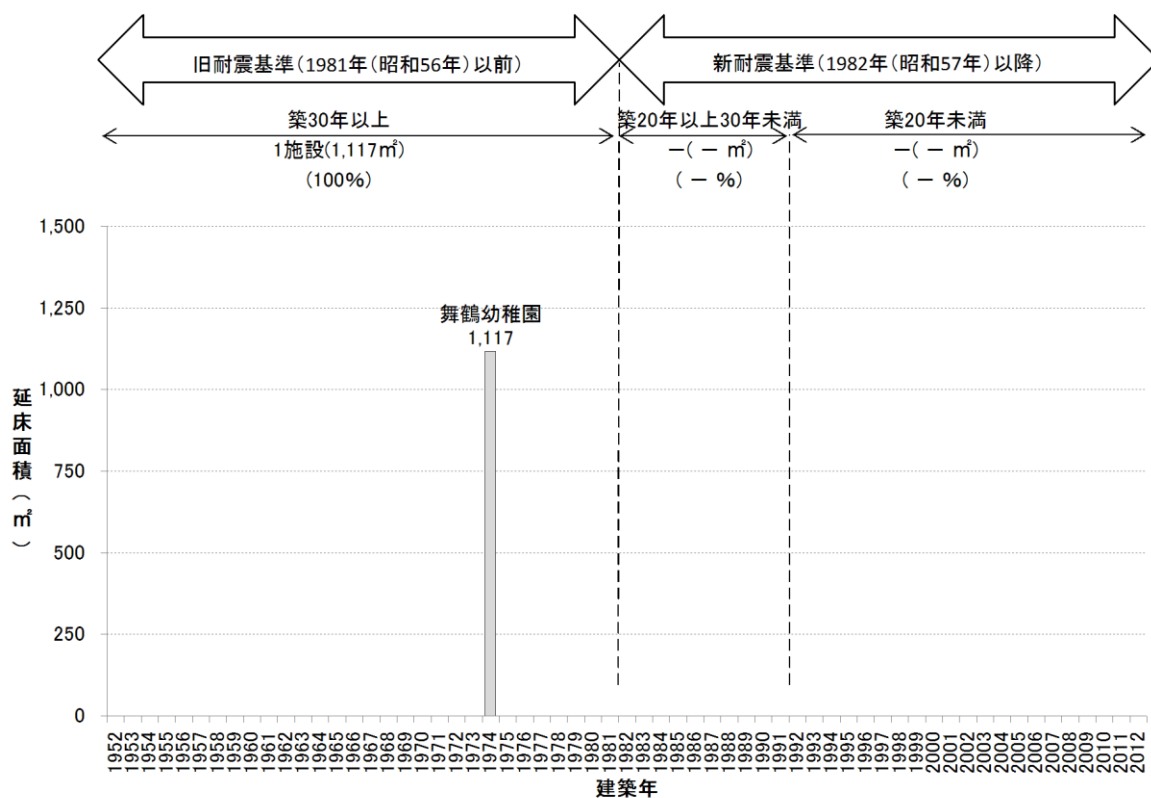


(2) 建物状況

■ 老朽化

築38年が経過しておりますが、1991年（平成3年）に老朽化に伴う大規模改修が、2006年（平成18年）に耐震補強が、それぞれ完了しています。

図 築年別整備状況



■ 機能改善、環境負荷低減

バリアフリー化は対応が遅れています。

環境への負荷を低減させる設備は設置されていません。

表 機能改善等の状況

| | | 舞鶴幼稚園 |
|---------|---------------|-------|
| バリアフリー化 | 車いす用エレベーター | × |
| | 身障者用トイレ | × |
| | 車いす用スロープ | × |
| | 自動ドア | × |
| | 手すり | × |
| | 点字ブロック | × |
| 環境負荷低減 | 自然エネルギー・太陽光発電 | × |
| | 屋上緑化・壁面緑化 | × |
| | 環境対応設備 | × |

※ 「●・・・設置済み」、「▲・・・一部設置」、「×・・・設置なし」を表している。

(3) 利用状況

■ 園児数

2010年度（平成22年度）の舞鶴幼稚園の園児数は50名で、私立幼稚園の園児数は1,303人です。

表 市内の幼稚園の園児数（2010年度（平成22年度））

| | 学級数 | 園児数 |
|------------|-----|-------|
| 公立(舞鶴幼稚園) | 3 | 50 |
| 私立(私立幼稚園計) | 68 | 1,303 |
| 合計 | 71 | 1,353 |

出典：舞鶴市統計書

(4) 運営状況

■ 運営方法、運営日数

舞鶴幼稚園は直営で運営されています。

年間運営日数は203日で、保育時間は9時から14時までです。

表 運営方法・運営日数

| 施設名称 | 運営方法 | 年間運営日数 | 定休日(曜日) | 開園時間 | 閉園時間 |
|-------|------|--------|---------|------|-------|
| 舞鶴幼稚園 | 直営 | 203 | 土日祝 | 9:00 | 14:00 |

■ 運営人員

教員8人(職員数3人、嘱託・臨時職員5人)で施設を運営しています。

表 教職員数(2010年度(平成22年度))

| 施設名称 | 園児数 | 教員 | | 合計(人) |
|-------|-----|----|-------|-------|
| | | 職員 | 嘱託・臨時 | |
| 舞鶴幼稚園 | 50 | 3 | 5 | 8 |

(5) 防災状況

■ 防災設備状況

耐震補強は実施済みです。

地域防災計画上の位置付けはありません。

避難場所機能は設置されていません。

表 防災設備状況

| | | 舞鶴幼稚園 |
|----------------------------|----------|-------|
| 耐震性 | 耐震診断 | 実施済 |
| | 耐震補強 | 実施済 |
| 地域 位置防 災計 画で の | 災害対策本部 | — |
| | 避難所 | × |
| | 応急給水場所 | × |
| | 医療救護所 | × |
| 避難 所 機 能 | 災害用備蓄 | × |
| | 通信設備 | × |
| | 簡易トイレ | × |
| | マンホールトイレ | × |
| | 調理設備 | × |
| | 代替電源設備 | × |
| | 冷暖房設備 | × |
| | 入浴施設 | × |

※ 「●・・あり」、「×・・なし」を表している。

※ 耐震性の基準は、基本的に非木造の2階建て以上又は延床面積200㎡超の建物を対象とした市の調査に基づき、次のように分類している。

- ・対象外：上記の対象にならない建物
- ・不 要：上記の対象建物の内、1981年（昭和56年）6月以降建築の建物、又は耐震診断を実施し耐震補強の必要がない建物
- ・実施済：上記の対象建物の内、診断・補強を実施した建物
- ・未実施：上記の対象建物の内、診断・補強を実施していない建物

■ 自然災害に対する安全性

ハザードマップ（洪水）でみると、舞鶴幼稚園は1.0から2.0m未満の浸水が予想されるエリアに立地しています。

(6) コスト状況

■ 運営コスト

2011 年度（平成 23 年度）の幼稚園の運営に係るコストの状況は以下のとおりで、年間約 3,000 万円が支出され、その全額が市の財政からの支出（行政コスト）です。

園児 1 人当たりの行政コストは 601,051 円です。

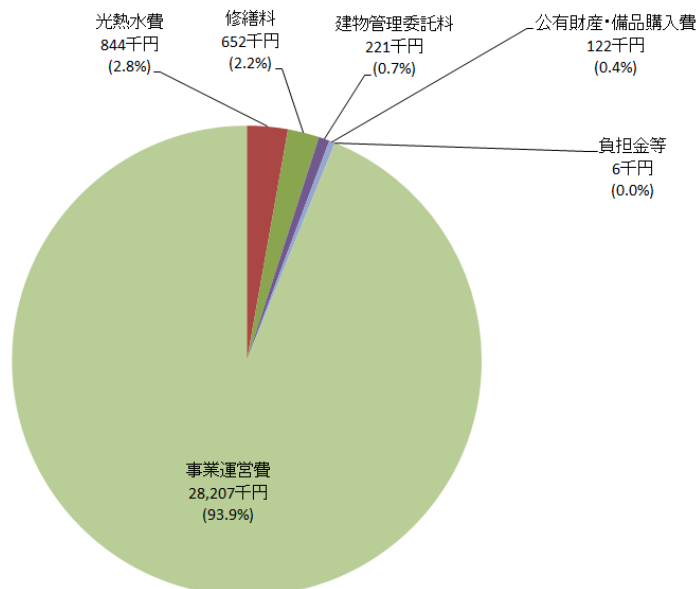
表 施設の運営コスト（2011 年度（平成 23 年度））

(円)

| | | 舞鶴幼稚園 | |
|----------------------|------------|------------|---------|
| 建物に係るコスト (維持管理費等) | 燃料費 | 0 | |
| | 光熱水費 | 電気代 | 349,402 |
| | | 油代 | 153,855 |
| | | ガス代 | 27,720 |
| | | 上下水道代 | 313,168 |
| | | 計 | 844,145 |
| | 修繕料 | 652,050 | |
| | 建物管理委託料 | 221,305 | |
| | 賃借料・使用料 | 地代 | 0 |
| | | その他 | 0 |
| | | 計 | 0 |
| | 工事請負費 | 0 | |
| | 公有財産・備品購入費 | 121,800 | |
| 負担金等 | 6,332 | | |
| 合計(a) | 1,845,632 | | |
| 事業運営費 | 人件費 | 28,206,938 | |
| | その他 | 0 | |
| | 合計(b) | 28,206,938 | |
| 運営コスト(a+b) | | 30,052,570 | |
| 減価償却費(c) | | 5,693,504 | |
| トータルコスト(a+b+c) | | 35,746,074 | |
| 行政コスト | 指定管理委託料 | 0 | |
| | その他行政支出額 | 30,052,570 | |
| | 合計 | 30,052,570 | |
| 園児数(人) | | 50 | |
| 園児1人当たりの行政コスト(円) | | 601,051 | |

運営コストの内訳は、事業運営費が約 2,821 万円（約 94%）、光熱水費が約 84 万円（約 3%）、修繕料が約 65 万円（約 2%）です。

図 幼稚園の運営コストの内訳（2011 年度（平成 23 年度））



■ 維持管理経費（光熱水費、修繕料、建物管理委託料）

維持管理経費（光熱水費、修繕料、建物管理委託料）として、約 172 万円が支出されています。内訳は、光熱水費が約 84 万円（約 49%）、修繕料が約 65 万円（約 38%）、建物管理委託料が約 22 万円（約 13%）です。延床面積 1 m²当たりの維持管理経費の平均は 1,538 円です。

表 1 m²当たりの維持管理経費（2011 年度（平成 23 年度））

| | | (円) |
|-----------------------------|---------|-----------------------|
| | | 舞鶴幼稚園 |
| 延床面積 (m ²) | | 1,116.87 |
| 維持管理経費 | 光熱水費 | 844,145 (49.1%) |
| | 修繕料 | 652,050 (38.0%) |
| | 建物管理委託料 | 221,305 (12.9%) |
| | 合計 | 1,717,500 (100.0%) |
| 1 m ² 当たりの維持管理経費 | 光熱水費 | 756 |
| | 修繕料 | 584 |
| | 建物管理委託料 | 198 |
| | 合計 | 1,538 |

■ 将来コスト

今後40年間における大規模改修、建替え及び耐震改修に必要な投資的経費と維持管理費の合計は約6億2,000万円、年平均で約2,000万円と見込まれます。

このうち、当面の10年間に必要なコストは、大規模改修のための投資的経費約1億3,000万円と、施設の維持管理費約3,000万円で、合計約1億6,000万円となり、年平均では約2,000万円と見込まれます。

表 施設の維持に必要なコスト

| | | (億円) | |
|-----------|-------|-----------------|-------------------|
| | | 40年間で 必要なコスト | 直近10年間で 必要なコスト |
| 投資的 経費 | 大規模改修 | 1.3 | 1.3 |
| | 建替え | 3.7 | - |
| | 耐震改修 | - | - |
| | 計 | 5.0 | 1.3 |
| (年平均) | | (0.13) | (0.13) |
| 維持管理費等 | | 1.2 | 0.3 |
| 合計 | | 6.2 | 1.6 |
| (年平均) | | (0.16) | (0.16) |

図 今後40年間で施設の維持に必要なコストの内訳

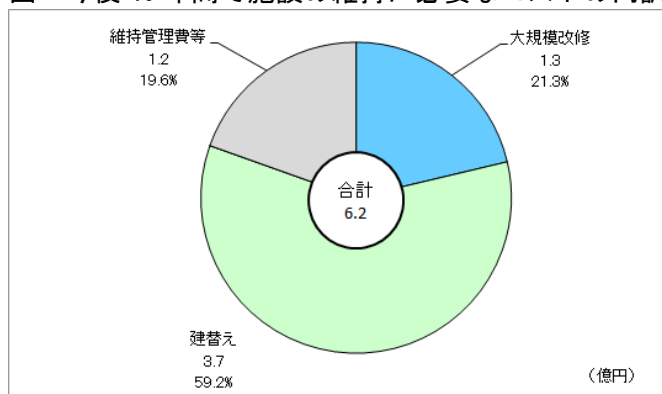
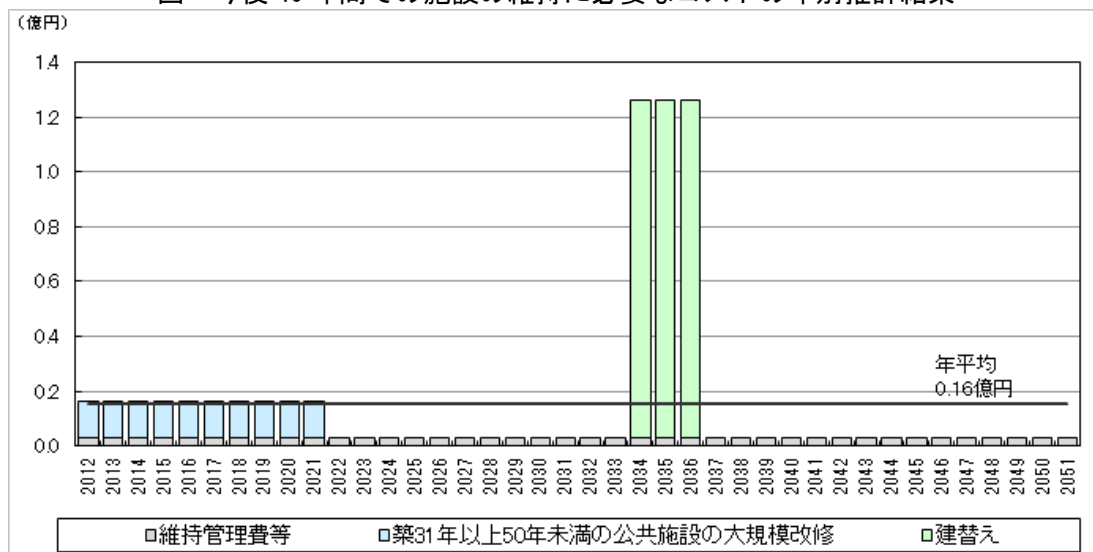


図 今後40年間の施設の維持に必要なコストの年別推計結果



※各将来コストの算定方法は巻末を参照

(7) 評価（まとめ）**■ 現状・課題**

| | |
|---------|---|
| 施設の保有状況 | <ul style="list-style-type: none"> ➤市内には幼稚園が13か所（定員2,373人）あり、このうち舞鶴市が運営する施設は1か所（定員294人）です。幼稚園の延床面積は1,117㎡です。 |
| 建物状況 | <ul style="list-style-type: none"> ➤築38年が経過していますが、1991年（平成3年）に老朽化に伴う大規模改修が、2006年（平成18年）に耐震補強が、それぞれ完了しています。 ➤バリアフリー化は対応が遅れています。 |
| 利用・運営状況 | <ul style="list-style-type: none"> ➤2010年度（平成22年度）の園児数は50人で、定員294名の17%の定員充足率となっています。 ➤市内全体の園児1,353名のほとんどが私立の幼稚園を選択しています。 |
| 防災対応状況 | <ul style="list-style-type: none"> ➤耐震補強は実施済みです。 ➤地域防災計画上の位置付けはありません。 ➤河川氾濫時に浸水被害が予想されるエリアに立地しています。 |
| コスト状況 | <ul style="list-style-type: none"> ➤2011年度（平成23年度）の運営コストは約3,000万円で、事業運営費が約94%、建物に係るコスト（維持管理費等）が約6%を占め、全額が市の財政からの支出（行政コスト）です。 ➤園児1人当たりの行政コストは601,051円です。また、延床面積1㎡当たりの維持管理経費の平均は1,538円です。 ➤今後40年間に必要な将来コスト（事業運営費を除く）は約6億2,000万円で、当面10年間では、大規模改修のための約1億3,000万円の投資的経費が必要となります。 |

■ 改善の方向性

- 現在の建物は、耐震補強は実施済みですが、築後38年を経過しており、大規模な改修等が必要となってきます。
- 少子化の進行、幼保一元化の動きや保育ニーズが多様化する中で、市内の就学前保育のあり方や公設置の役割について、隣接する西乳児保育所も含めて総合的に検討する必要があります。